

兵庫大会を終えて

全国高等学校国語教育研究連合会第五十回研究大会兵庫大会実行委員長

小山 智久（兵庫県立長田高等学校長）

全国高等学校国語教育研究連合会第五十回研究大会にご参加いただきました皆様、まことにありがとうございました。兵庫大会実行委員会を代表して、心からお礼申し上げます。本県の県立、市立、私立の高等学校・中等教育学校、特別支援学校の国語科の教員が、昨年度から実行委員会を立ち上げ、日常の校務と並行しながら各担当で業務の検討を重ね、その内容を前日含め六回の実行委員会で全体が共有する方法で準備を進めて参りました。限られた時間の中ではありますが、実行委員会では精一杯の「おもてなし」をさせていただきましたが、何かしら得るもののある会となりましたでしょうか。

大会あいさつでも申し上げましたが、この度の大会は、兵庫県高等学校教育研究会国語部会七十周年記念秋季研究協議会を兼ねて開催いたしました。本県国語部会では、春秋の年二回総会・研究協議会を開催するとともに、七つの支部でも同様の研究協議会を実施し、国語科教員の研修の機会としています。できるだけ大勢の教員がこの度の研究大会に参加し、学習指導要領の改訂や高大接続改革の動向を踏まえた授業改善の具体的なヒントを得る機会となるよう、第二日の分散会の会場を、神戸市内だけでなく、阪神地域や姫路市などの西播磨地域の高等学校等にも広げ、近隣の会場に参加しやすくいたしました。日頃、授業等に追われ、県内の研修会への参加すらままならない私たちにとって、県外の教員の方々との情報交換や協議などは、本当に刺激的な経験となりました。お陰をもちまして直接準備に関わった実行委員をはじめ、多くの本県教員にとって得ることの多い研究大会となりました。感謝申し上げます。

この「大会集録」は、平成二十九年十一月十六日、十七日の二日間にわたる兵庫大会のまとめというより、参加者目線での記録、感想という形でまとめました。実行委員のアクティブ・ラーニングによる学びの報告として読んでいただければ幸いです。

ともあれ、私事で恐縮ですが、実行委員長を受けさせていただいた平成二十八年五月からの一年半に亘る準備期間中にいただきました佐藤和彦会長をはじめ全国連役員及び全国連事務局の皆様からのお心遣い。さらには、昨年度の開催県である香川県からの指導助言をはじめ、後援をいただきました文部科学省、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫県私立中学高等学校連合会、兵庫県立学校長協会、兵庫県市立高等学校長会、一般財団法人兵庫県学校厚生会の皆様のお力添えをもちまして、何とか大役を務めることができました。関わっていただきましたすべての皆様に感謝しつつ、来る秋田大会でお会いすることを祈念して、巻頭のご挨拶といたします。

